
為替相場展望

2013年10月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/exchange>

目次

- ◆為替相場概説・・ p. 1
- ◆ドル円、ユーロ相場の回顧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2
- ◆日米の政策動向がカギを握るドル円相場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 3
- ◆独米金利差に見合う水準よりも高止まりするユーロ・・・・・・・・・・・・ p. 4
- ◆トピックス：米利上げ局面のイメージトレーニング・・・・・・・・・・・・ p. 5
- ◆ドル円、ユーロ相場の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 6
- ◆内外市場データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 7

調査部 マクロ経済研究センター

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

◆本資料は、2013年10月4日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

為替相場概説 (2013年10月)

1. ドル円、ユーロ相場の回顧

<9月のドル円相場>

月前半は、①米景気指標の改善、②中東情勢への不安後退、③東京での五輪開催決定、等を受けて、リスク選好の動きが強まり、100円台まで円安ドル高が進行。一方、月後半は、①米量的緩和縮小見送り、②米財政協議を巡る不透明感の強まり、等を受けて、円が強含み。

<9月のユーロ円相場>

中旬にかけて、①中東情勢への不安後退、②ユーロ圏景気指標の改善、③米量的緩和縮小見送り、等を受けて、リスク選好の動きが強まり、134円台までユーロ高が進行。もっとも、下旬は、ECBによる新たな長期流動性資金供給への期待が高まり、ユーロが弱含み。

2. 日米の政策動向がカギを握るドル円相場

当面のドル円相場は、米財政政策や量的緩和縮小を巡る不透明感が残るなか、ドルの上値が重い展開が続く見込み。もっとも、米財政協議については、最終的には与野党が歩み寄る形で合意に至ることが期待されるほか、量的緩和についても、米国の雇用回復が続けば、縮小が開始される公算大。今後、①米国景気の回復基調の強まり、②米財政政策や量的緩和縮小を巡る不透明感の後退、等の条件が整えば、円安ドル高基調に復していく見通し。

わが国の経済政策「アベノミクス」のドル円相場に与える影響も大。東京での五輪開催もあり、中期的にわが国経済への注目が集まりやすいなか、今後、アベノミクスへの期待が再燃すれば、海外投資家の日本株買い・円売りポジションの造成を通じて、相乗的な株高・円安を後押しする公算大。

3. 独米金利差に見合う水準よりも高止まりするユーロ

ユーロ相場は、独米2年債利回り格差と強い相関。もっとも、足許にかけては、独米2年債利回り格差に見合う水準に比べてユーロが高止まり。この背景としては、①ユーロ圏景気の改善、②ユーロ圏の経常黒字拡大、③バランスシートの観点でECBがFRBに比べて金融引き締めの映りやすいこと、等を指摘可能。

当面を展望すると、独米金利差の拡大は見込めないものの、ユーロ圏景気の改善や経常黒字拡大等がユーロ強含みに作用し、独米金利差に見合う水準よりもユーロが高止まりする傾向が続く見込み。もっとも、①今後、ECBが新たなLTRO実施を含め、追加緩和に踏み切る可能性があること、②欧州債務問題の抜本的解決が見通せないなか、債務問題への懸念が再燃するリスクがあること、等を踏まえれば、ユーロの上値余地は限られ、一転して急落するリスクも。

4. トピックス：米利上げ局面のイメージトレーニング

9月FOMCで公表された最新の経済・政策金利の見通しを踏まえると、①利上げ開始は2015年半ば以降、②利上げペースは、前回2004年の利上げ局面よりも緩やか、になる公算。

2004年6月に始まった前回の利上げ局面では、利上げ開始時こそ株安等を通じてリスク回避の動きが強まり、円高ドル安が進行したものの、その後は、利上げが続くなかでも、株高等を通じてリスク選好の地合いが維持され、日米金利差拡大に伴って円安ドル高が進行。今後のFRBの利上げペースが、前回2004年の利上げペースよりも緩やかなものになれば、金利上昇が株安等に招来してリスク回避の動きが強まるリスクが軽減され、円安ドル高基調が持続しやすくなる公算。一方、円安ドル高進行ペースは、金利差拡大ペース同様、緩やかにとどまる見込み。

5. ドル円、ユーロ相場の見通し

<ドル円相場の見通し>

米財政・金融政策を巡る不透明感が残るなか、当面は方向感を欠いた展開が続く見込みながら、日米金融政策の方向性の違いや需給面での円高圧力減退等により、中長期的な円安ドル高基調は不変。米国景気の回復基調が強まるとともに、円安ドル高基調に復していく見通し。

<ユーロ相場の見通し>

ユーロ圏景気が持ち直しに転じるなか、ユーロが底堅く推移する見通し。ユーロ圏の経常黒字拡大もユーロ強含みに作用。もっとも、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄な状況下、ECBの低金利長期化が予想されることから、ユーロの上値は限られる見込み。

米量的緩和縮小を巡る不透明感が残ったほか、月末にかけて米財政政策を巡る警戒感が高まったことから、リスク回避の動きが強まり、円高ドル安が進行。

<9月のドル円相場>

月初以降、中国や米国の景気指標の改善等を受けて、リスク選好の動きが強まるなか、6日にかけて100円台前半まで円安ドル高が進行。その後、同日発表の米雇用統計が市場予想を下回ったこと等を受けて、一時98円台半ばまでドルが急落したものの、その後、①東京での五輪開催決定を受けた日本株上昇、②シリアへの軍事介入回避、等を背景に、再びリスク選好の動きが強まり、11日には一時100円台後半までドルが持ち直し。もっとも、その後は一転してドルが弱含む展開。18日のFOMCでFRBが市場予想に反して量的緩和縮小を見送ったことを受けて、米国金利が低下し、一時97円台後半までドルが急落。その後、金利低下を好感した株高を背景に、一旦99円台までドルが持ち直したものの、米量的緩和縮小を巡る不透明感が残ったほか、米財政協議を巡る警戒感が強まったこと等から、月末にかけて再び97円台まで円高ドル安が進行。

<9月のユーロドル相場>

米景気指標の改善等を受けて、FRBの量的緩和縮小観測が高まったほか、ドラギECB総裁が利下げの可能性に言及したこと等から、6日に1.31ドル台前半までユーロ安が進行。もっとも、その後は、①米雇用統計が市場予想を下回ったこと、②シリアへの軍事介入回避等を受けてドルへの資金逃避が一巡したこと、等から、ユーロが持ち直しに転じ、18日のFOMCでFRBが市場予想に反して量的緩和縮小を見送ったことから、19日には1.35ドル台後半までユーロが大幅続伸。もっとも、その後は、①23日にドラギECB総裁が新たな長期流動性資金供給(LTRO)実施に言及したこと、②米財政協議を巡る不透明感の高まりを受けてリスク回避の動きが強まったこと、等から、1.35ドル台ではユーロの上値が重い展開が持続。

ドル円相場・ユーロ円相場の推移



ユーロドル相場の推移



(資料)Bloomberg L.P.

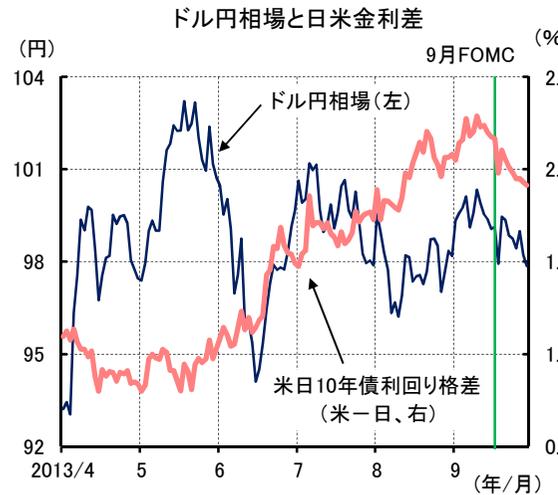
米財政政策、量的緩和縮小を巡る不透明感の後退やアベノミスクへの期待再燃等が円安トレンド回帰に不可欠。

F R Bは、9月17～18日開催のF O M Cで市場予想に反して量的緩和縮小を見送り。これを受けて、米国金利が急低下し、ドルが一時97円台まで急落。その後も米量的緩和縮小を巡る不透明感が残ったほか、米財政政策を巡る警戒感が強まったことから、リスク回避の動きが強まり、日米金利差が縮小、株安に振れるなかで、円高ドル安地合いが持続。

当面を展望すると、米財政政策や量的緩和縮小を巡る不透明感が残るなか、ドルの上値が重い展開が続く見込み。過去を振り返ってみると、2011年夏に米財務上限引き上げ協議が難航した局面や、F R Bが過去2回、量的緩和を終了した前後では、リスク回避の円高ドル安が進行。

もっとも、米財政協議については、最終的には与野党が歩み寄る形で合意に至ることが期待されるほか、量的緩和縮小についても、今回は先送りされたに過ぎず、米国の雇用回復が続けば、早晩量的緩和縮小が開始される公算大。今後、①米国景気の回復基調の強まり、②米財政政策や量的緩和縮小を巡る不透明感の後退、等の条件が整えば、米国金利の緩やかな上昇や投資家のリスクテイク志向の高まりに支えられる形で、円安ドル高基調に復していく見通し。

わが国の経済政策「アベノミクス」のドル円相場に与える影響も大。昨年秋以降、海外投資家はアベノミクスへの期待等を背景に日本株を買い増す局面で、ドルベースでの利益を確定させるため、円を売る傾向。東京での五輪開催もあり、中期的にわが国経済への注目が集まりやすいなか、今後、アベノミクスへの期待が再燃すれば、海外投資家の日本株買い・円売りポジションの造成を通じて、相乗的な株高・円安を後押しする公算大。



(資料)Bloomberg L.P.

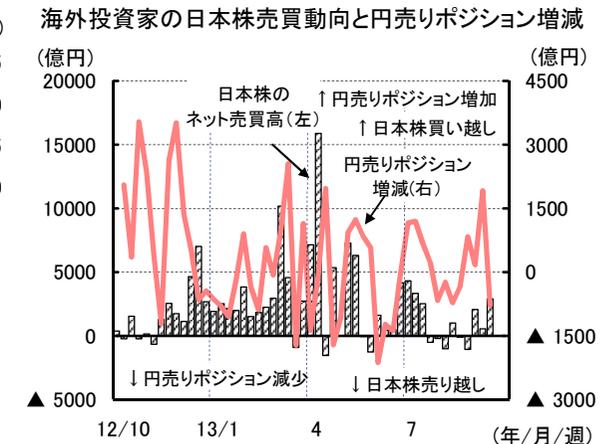


(資料)米財務省、Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.

(注)シャドウ部分は米FRBの量的緩和実施局面。金利差は10年債利回り格差。



(資料)東京証券取引所、米CFTC

(注)円売りポジション増減は、IMM通貨先物(非商業部門)の前週からの増減。

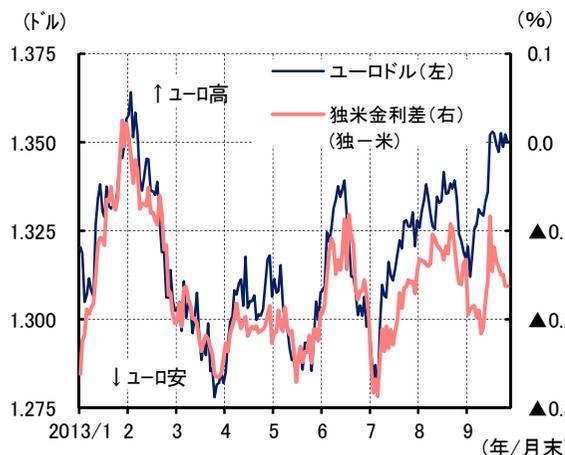
ユーロ圏景気の改善や経常黒字拡大等がユーロ強含みに作用。もっとも、ユーロの上値余地は限られ、一転して急反落するリスクも。

ユーロの対ドル相場は、米欧の景気・金融政策の行方に左右される展開が持続。一般的に、景気・金融政策の行方を反映しやすいとされるのは2年債利回り。実際、ユーロの対ドル相場は、独米2年債利回り格差と強い相関。

もっとも、足許にかけては、独米2年債利回り格差に見合う水準に比べてユーロが高止まり。この背景として、以下の3点を指摘可能。第1は、ユーロ圏景気の改善。ユーロの対ドル相場は、ユーロ圏の景気動向を示すユーロ・コインと一定の相関。足許にかけて同インデックスがユーロ圏景気の改善を示すなかでも、ユーロ相場との一定の相関が続いており、このことは、ECBのフォワード・ガイダンス導入を受け、金利上昇が抑制されるなかでも、ユーロ圏景気の改善を反映してユーロが買い戻されていることを示唆。第2は、ユーロ圏の経常黒字拡大。過去においても、ユーロ圏の経常収支が黒字化する局面ではユーロは対ドルで底堅く推移する傾向。第3は、バランスシート、ないしは、マネタリーベースの観点で、ECBがFRBに比べて金融引き締めの映りやすいこと。米国では、FRBの量的緩和が続くなか、マネタリーベースが拡大しているのに対し、ユーロ圏では、欧州銀行によるECBへの長期流動性供給(LTRO)の返済等を受け、マネタリーベースは縮小傾向。

以上を踏まえ、当面を展望すると、欧米ともに超低金利政策の長期化が予想されるなか、独米金利差の拡大は見込めないものの、ユーロ圏景気の改善や経常黒字拡大等がユーロ強含みに作用し、独米金利差に見合う水準よりもユーロが高止まりする傾向が続く見込み。もっとも、①ドラギECB総裁は9月下旬に新たなLTRO実施の可能性に言及しており、今後、ECBが新たなLTRO実施を含め、追加緩和に踏み切る可能性があること、②欧州債務問題の抜本的解決が見通せないなか、債務問題への懸念が再燃するリスクがあること、等を踏まえれば、ユーロの上値余地は限られ、一転して急反落するリスクも。

ユーロドル相場と独米2年債利回り格差の推移



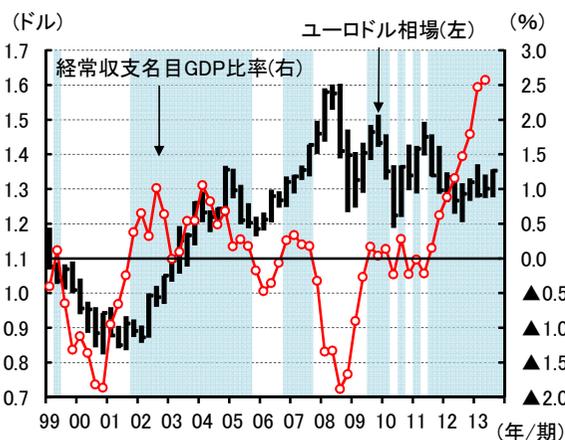
(資料)Bloomberg L.P.

ユーロドル相場とユーロ・コイン



(資料)イタリア中銀、英経済政策研究センター、Bloomberg L.P.
(注)ユーロ・コインは、Euro coincident indicator(ユーロ一致指数)の略称。株価、物価、鉱工業生産指数、景況感等で構成。

ユーロドル相場とユーロ圏経常収支名目GDP比率



(資料)ECB, Eurostat, Bloomberg L.P.
(注)シャドー部は経常収支が黒字の局面。

米欧マネタリーベース比率とユーロドル相場



(資料)米FRB、ECB

米国の利上げペースが緩やかなものになれば、円安ドル高基調が持続しやすくなる公算。一方、円安ドル高進行ペースは緩やかに。

F R Bが量的緩和を縮小・終了させた後の米国の金融政策の焦点は、利上げの時期やペース。F R Bの利上げは、米国金利の上昇につながり、日米金利差拡大を通じてドル高要因になるとの見方が一般的。ここでは、9月F O M Cで公表された最新のF O M C参加者の経済・政策金利の見通しを基に、今後のF R Bの利上げ時期やペース、及び今後の利上げが円安ドル高につながる可能性について考察。

まず、今後の利上げ時期については、F O M C参加者の大半が2015年と予想。さらに、F O M C参加者の失業率予測を踏まえると、利上げ開始は、F R Bが利上げ開始の判断材料の一つとしている失業率が6.5%以下の水準まで低下することが見込まれる2015年半ば以降となる公算。次に、今後の利上げペースについては、F O M C参加者が予測する2015年末と2016年末における政策金利の差は1%で0.25%の利上げを年4回実施すると想定しており、前回2004年の利上げよりも緩やかなペースになる公算。

2004年6月に始まった前回の利上げ局面では、利上げ開始時こそ株安等を通じてリスク回避の動きが強まり、円高ドル安が進行したものの、その後は、利上げが続くなかでも、株高等を通じてリスク選好の地合いが維持され、日米金利差拡大に伴って円安ドル高が進行。今後の利上げ局面と前回の利上げ局面とでは市場環境やマクロ経済環境が異なるため、単純な比較はできないものの、今後のF R Bの利上げペースが、前回2004年の利上げペースよりも緩やかなものになれば、金利上昇が株安等に招来してリスク回避の動きが強まるリスクが軽減され、円安ドル高基調が持続しやすくなる公算。一方、円安ドル高進行ペースは、金利差拡大ペース同様、緩やかにとどまる見込み。

F O M C参加者の経済・政策金利見通し(9月)

(単位: %)

	2013年	2014年	2015年	2016年	中長期
実質GDP成長率	2.0~2.3	2.9~3.1	3.0~3.5	2.5~3.3	2.2~2.5
前回6月時点	2.3~2.6	3.0~3.5	2.9~3.6	-	2.3~2.5
失業率	7.1~7.3	6.4~6.8	5.9~6.2	5.4~5.9	5.2~5.8
前回6月時点	7.2~7.3	6.5~6.8	5.8~6.2	-	5.2~6.0
PCEデフレーター	1.1~1.2	1.3~1.8	1.6~2.0	1.7~2.0	2.0
前回6月時点	0.8~1.2	1.4~2.0	1.6~2.0	-	2.0
コアPCEデフレーター	1.2~1.3	1.5~1.7	1.7~2.0	1.9~2.0	-
前回6月時点	1.2~1.3	1.5~1.8	1.7~2.0	-	-

	2013年	2014年	2015年	2016年
利上げ開始	-	3	12	2
前回6月時点	1	3	14	1

(資料)米FRBをもとに日本総研作成

(注)成長率、インフレ率は、第4四半期の前年比、失業率は、第4四半期。

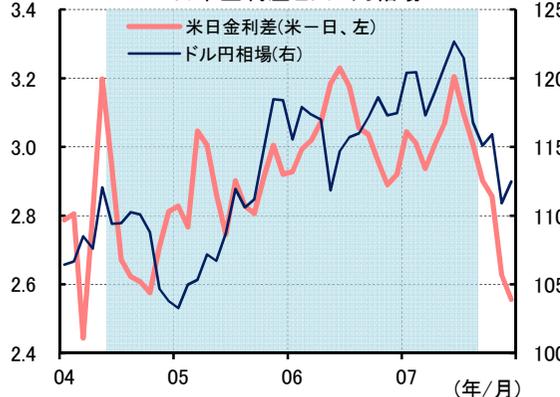
前回の米利上げ局面と今後の利上げ局面の政策金利パスの比較



(資料)米FRB

(注)2015、2016年末の政策金利水準は、9月F O M Cで公表されたF O M C参加者全員の政策金利見通しの平均。

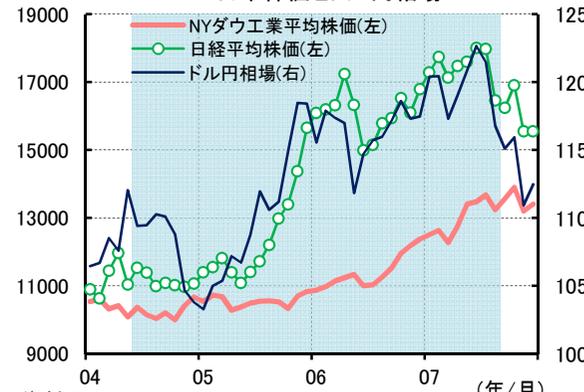
前回の米FRBの利上げ局面での日米金利差とドル円相場



(資料)Bloomberg L.P.

(注)シャド一部は米FRBの利上げ局面。金利差は10年債の利回り格差。

前回の米FRBの利上げ局面での日米株価とドル円相場



(資料)Bloomberg L.P.

(注)シャド一部は米FRBの利上げ局面。NYダウ工業平均株価、日経平均株価の単位はそれぞれドル、円。

【ドル円】当面はドルの上値が重いものの、徐々に円安ドル高基調へ。
【ユーロ】ユーロの底堅い展開を見込むも、上値は限られる見通し。

＜ドル円相場の見通し＞

当面は、米財政政策や量的緩和縮小を巡る不透明感が残るなか、ドルの上値が重い展開が続く見込み。

もっとも、日米金融政策の方向性の違いやわが国貿易赤字を主因とした需給面での円高圧力後退等により、中期的な円安ドル高基調は不変。

今後、①米国景気の回復基調の強まり、②米財政政策や量的緩和縮小を巡る不透明感の後退、等の条件が整えば、日米金利差の拡大や資家のリスク選好度合いの強まりに支えられる形で、緩やかな円安基調に復していく見込み。

わが国の経済政策「アベノミクス」のドル円相場への影響も大。東京での五輪開催もあり、わが国経済への注目が集まりやすいなか、今後、アベノミクスへの期待が再燃すれば、相乗的な株高・円安を後押しする公算大。

＜ユーロ相場の見通し＞

足許でユーロ圏の景況感が上向くなか、当面は対円でユーロの底堅い展開が続く見通し。ユーロ圏の経常黒字拡大もユーロ強含みに作用。もっとも、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄の状況下、フォワード・ガイダンスを導入したECBの低金利長期化が予想されることから、ユーロの上値は限られる見込み。

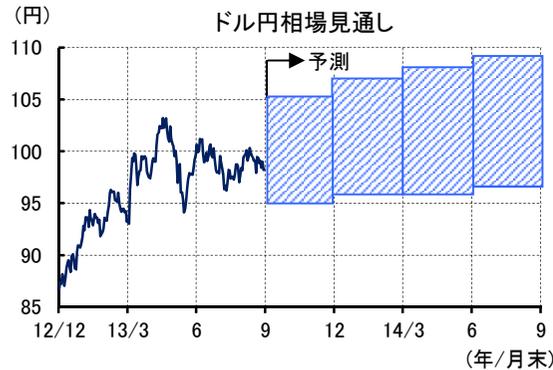
足許では欧州債務問題に対する過度な懸念が後退しており、債務問題がユーロ相場に与える影響は低下。もっとも、債務問題の抜本的解決が見通せないなか、同問題がユーロ下振れリスクになり続ける見込み。

対ドルでは、低金利長期化が見込まれるECBと金融政策の正常化に向かうFRBとの金融政策の方向性の違いを反映して、中期的にユーロ安が進む公算大。

ドル円相場見通し

	2013年		2014年		
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
期中平均	98.9	99	101	102	103
(高値)	101.5	105	107	108	109
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	95.8	95	96	96	97

予測



ユーロ円相場見通し

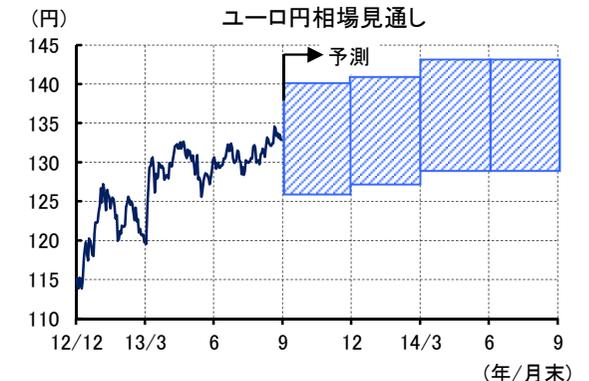
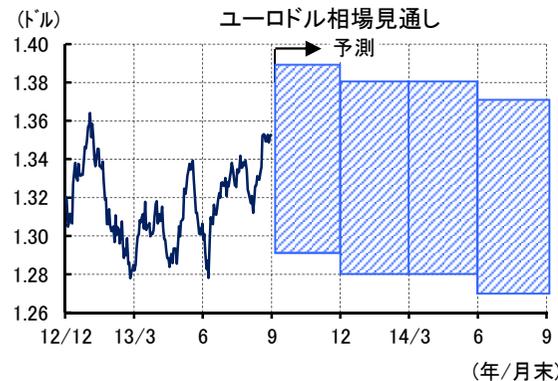
	2013年		2014年		
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
期中平均	131.0	133	134	136	136
(高値)	135.0	140	141	143	143
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	128.0	126	127	129	129

予測

ユーロドル相場見通し

	2014年				
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9
期中平均	1.32	1.34	1.33	1.33	1.32
(高値)	1.36	1.39	1.38	1.38	1.37
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	1.28	1.29	1.28	1.28	1.27

予測



内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担O/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	FF 0/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユー・ロ・ ストックス50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
10/10	81.80	113.69	1.3900	0.0909	0.34	0.89	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	1171.58	0.70	1.00	2.37	2.96	2817.71	81.97	1344.78
10/11	82.58	112.61	1.3641	0.0906	0.34	1.05	9797.18	0.19	0.29	2.74	11198.31	1198.89	0.59	1.04	2.56	3.20	2809.64	84.31	1371.80
10/12	83.22	110.06	1.3227	0.0869	0.34	1.19	10254.46	0.18	0.30	3.28	11465.26	1241.53	0.50	1.02	2.96	3.50	2825.58	89.23	1392.60
11/1	82.62	110.49	1.3374	0.0848	0.34	1.21	10449.53	0.17	0.30	3.36	11802.37	1282.62	0.66	1.02	3.05	3.60	2900.69	89.58	1361.02
11/2	82.57	112.80	1.3662	0.0934	0.34	1.28	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1321.12	0.71	1.09	3.23	3.77	3015.73	89.74	1375.12
11/3	81.64	114.45	1.4019	0.0846	0.34	1.25	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1304.49	0.66	1.18	3.25	3.60	2890.36	102.98	1422.91
11/4	83.17	120.35	1.4473	0.0623	0.33	1.27	9644.62	0.10	0.28	3.43	12434.88	1331.51	0.97	1.32	3.35	3.63	2947.16	110.04	1485.41
11/5	81.15	116.24	1.4326	0.0693	0.33	1.14	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1338.31	1.03	1.43	3.11	3.36	2885.77	101.36	1512.55
11/6	80.47	115.89	1.4401	0.0685	0.33	1.13	9541.53	0.09	0.25	2.99	12097.31	1287.29	1.12	1.49	2.97	3.25	2766.61	96.29	1528.62
11/7	79.27	113.30	1.4293	0.0731	0.33	1.11	9996.68	0.07	0.25	2.98	12512.33	1325.18	1.01	1.60	2.79	3.13	2743.46	97.34	1574.62
11/8	77.05	110.46	1.4339	0.0806	0.33	1.02	9072.94	0.10	0.29	2.29	11326.62	1185.31	0.91	1.55	2.25	2.55	2297.21	86.34	1763.99
11/9	76.86	105.70	1.3752	0.0801	0.33	1.00	8695.42	0.08	0.35	1.96	11175.45	1173.88	1.01	1.54	1.87	2.41	2124.31	85.61	1771.92
11/10	76.68	105.26	1.3728	0.0814	0.33	1.01	8733.56	0.07	0.41	2.13	11515.93	1207.22	0.96	1.58	2.04	2.50	2312.30	86.43	1671.25
11/11	77.54	105.09	1.3554	0.0768	0.33	0.99	8506.11	0.08	0.48	2.00	11804.33	1226.41	0.79	1.49	1.95	2.24	2239.58	97.16	1739.43
11/12	77.84	102.35	1.3149	0.0778	0.33	1.00	8505.99	0.07	0.56	1.97	12075.68	1243.32	0.63	1.43	1.99	2.11	2283.30	98.58	1638.58
12/1	76.93	99.33	1.2912	0.0805	0.33	0.97	8616.71	0.08	0.57	1.93	12550.89	1300.58	0.38	1.22	1.86	2.04	2382.07	100.32	1657.22
12/2	78.60	104.06	1.3237	0.0849	0.33	0.96	9242.33	0.10	0.50	1.96	12889.05	1352.49	0.37	1.05	1.90	2.13	2508.24	102.26	1741.61
12/3	82.55	109.07	1.3214	0.0840	0.33	1.00	9962.35	0.13	0.47	2.16	13079.47	1389.24	0.36	0.86	1.88	2.25	2532.18	106.20	1676.67
12/4	81.27	106.99	1.3164	0.0745	0.33	0.95	9627.42	0.14	0.47	2.03	13030.75	1386.43	0.35	0.74	1.73	2.12	2340.78	103.35	1649.74
12/5	79.68	101.90	1.2788	0.0836	0.33	0.85	8842.54	0.16	0.47	1.78	12721.08	1341.27	0.34	0.69	1.46	1.87	2198.50	94.72	1587.68
12/6	79.35	99.57	1.2548	0.0764	0.33	0.84	8638.08	0.16	0.47	1.61	12544.90	1323.48	0.33	0.66	1.43	1.67	2152.74	82.41	1600.53
12/7	78.98	97.09	1.2293	0.0836	0.33	0.77	8760.68	0.16	0.45	1.50	12814.10	1359.78	0.18	0.50	1.31	1.55	2258.36	87.93	1593.68
12/8	78.68	97.59	1.2404	0.0863	0.33	0.80	8949.88	0.13	0.43	1.67	13134.90	1403.44	0.11	0.33	1.42	1.57	2424.50	94.16	1630.27
12/9	78.16	100.62	1.2874	0.0848	0.33	0.80	8948.59	0.14	0.39	1.70	13418.50	1443.42	0.10	0.25	1.55	1.77	2530.69	94.56	1745.83
12/10	79.01	102.47	1.2970	0.0849	0.33	0.77	8827.39	0.16	0.33	1.72	13380.65	1437.82	0.09	0.21	1.52	1.80	2503.47	89.57	1744.43
12/11	81.05	104.07	1.2838	0.0856	0.32	0.74	9059.86	0.16	0.31	1.65	12896.44	1394.51	0.08	0.19	1.39	1.79	2513.98	86.73	1722.91
12/12	83.91	110.16	1.3127	0.0822	0.32	0.74	9814.38	0.16	0.31	1.71	13144.18	1422.29	0.07	0.19	1.36	1.85	2625.55	88.25	1683.45
13/1	89.10	118.53	1.3302	0.0828	0.30	0.77	10750.85	0.14	0.30	1.88	13615.32	1480.40	0.07	0.21	1.56	2.04	2715.30	94.83	1671.17
13/2	93.13	124.24	1.3339	0.0866	0.28	0.74	11336.44	0.15	0.29	1.97	13967.33	1512.31	0.07	0.22	1.60	2.11	2630.40	95.32	1626.95
13/3	94.87	122.92	1.2957	0.0780	0.25	0.60	12244.03	0.14	0.28	1.94	14418.26	1550.83	0.07	0.21	1.41	1.89	2680.18	92.96	1593.62
13/4	97.75	127.35	1.3025	0.0721	0.24	0.57	13224.06	0.15	0.28	1.73	14675.91	1570.70	0.08	0.21	1.25	1.71	2636.35	92.07	1485.09
13/5	100.99	131.05	1.2978	0.0734	0.23	0.78	14532.41	0.11	0.27	1.92	15172.18	1639.84	0.08	0.20	1.37	1.86	2785.77	94.80	1416.61
13/6	97.29	128.40	1.3200	0.0743	0.23	0.85	13106.62	0.09	0.27	2.29	15035.75	1618.77	0.09	0.21	1.62	2.21	2655.76	95.80	1342.47
13/7	99.64	130.47	1.3095	0.0734	0.23	0.83	14317.54	0.09	0.27	2.56	15390.21	1668.68	0.09	0.22	1.63	2.36	2686.53	104.70	1288.07
13/8	97.80	130.25	1.3319	0.0735	0.23	0.75	13726.66	0.08	0.26	2.73	15195.35	1670.09	0.08	0.23	1.80	2.61	2803.85	106.54	1353.68
13/9	99.19	132.53	1.3362	0.0715	0.23	0.72	14372.12	0.08	0.25	2.80	15269.84	1687.17	0.08	0.22	1.93	2.89	2864.56	106.23	1350.93

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2013年10月